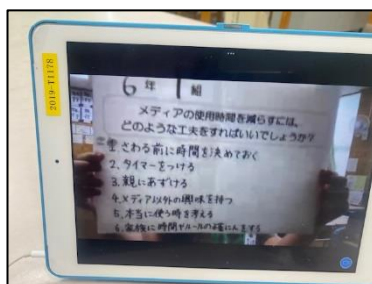
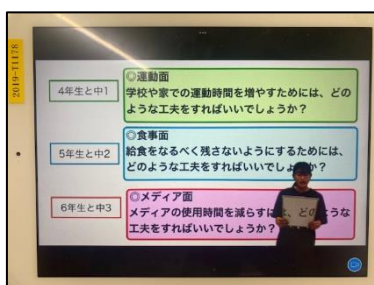


## 合同学校保健委員会を行いました。

今週の木曜日に合同学校保健委員会を行いました。この会には楠幼稚園の先生方、楠中の全生徒、楡木小・楠小の4年以上の児童のほか、まえだクリニックの前田淳子先生にも参加していただきました。合同学校保健委員会では、楠中校区の児童・生徒の健康課題を解決するために、アンケートをもとに解決策をみんなで考えていきます。

本年度は、楠小・楡木小・楠中で共通の健康課題「メディアとの付き合い方」「食事」「運動」について意見を交流していききました。各校のアンケートを楠中の生徒さんたちがまとめ、しっかりと分析してくれました。睡眠や運動などの課題も明らかになりました。それぞれの学級で「スマホやタブレットの使い方」や「運動不足解消」などについての改善策について話し合いました。

また、楠中から「メディアコントロールデー」の提案がありました。10月5日、12日、19日の3日間はメディア使用時間や就寝時間を各自で決めて生活改善を行う取り組みです。子どもたちにより良い生活習慣が身に付くよう、保護者の皆様にもご協力いただきますようお願いいたします。



【 6年保健委員が中心となって、会を立派に進めてくれました。 】

## 6年生 戦争・原爆の恐ろしさを学びました。

いよいよ来週の月曜日に、6年生が修学旅行（長崎方面）に出発します。修学旅行では、平和公園や原爆資料館などでの平和学習を予定しています。毎年、修学旅行に行く前に被爆2世・3世の会の会長青木 栄さんから6年生に向けて原爆の恐ろしさや平和の尊さについてご講話いただいています。

今週28日に青木さんに来ていただきました。お話の中で、被爆されたお父様のお話をしてくださいました。お父様は、亡くなる2年前まで、ご自身が長崎で被爆したことをご家族にも話されることはなかったそうです。初めてお父様から当時の体験をお聞きになった青木さんは、当時の地獄のような光景を思い出すことがどんなに辛いことかを心の底から理解されたそうです。青木さんは、6年生が一生懸命に聞いてくれたととても喜んでおられました。



【 青木さんの講話を熱心に聞く6年生 】

長崎での平和学習では、様々な資料を見たり、話を聞いたりする中で、原爆の恐ろしさや平和のありがたさをしっかりと学んでほしいと願います。